

# 平成30年度 学校経営計画

石川県立医王特別支援学校小松みどり分校

学校長 木田 肇

## 1 教育目標

### (1) 教育目標

本県唯一の病弱教育を行う特別支援学校として、児童生徒の能力や可能性を育む教育を推進し、知・徳・体の調和のとれた人格形成に努める。

### (2) 教育方針

- ① 「明るく、仲良く、強く」生きる資質や能力を育むとともに、自尊感情の涵養と他者を尊重する心を育て、心身ともに「安心して学べる安全な学校」を目指す。
- ② 医療と連携し、病種・病状並びに発達段階に応じた教育を推進する。
- ③ 学外に病弱教育に関する情報提供を図り、病気や障害のある児童生徒の教育的支援を積極的に果たす。

## 2 中・長期的目標

### (1) 学校の現状

- ① 病気やけがなどの治療により、地域の学校に通うことが困難な児童生徒が学んでいる。
- ② 慢性疾患、特に心身症等で転入学する児童生徒は、学習空白を補い、コミュニケーション能力の育成に励み、前籍校復帰をめざしている。

### (2) 児童生徒に関する中・長期的目標

- ① 家庭及び医療機関と連携して、基本的な生活習慣を身につけ、毎日登校する姿勢や基盤を養う。
- ② 個に応じた授業を行う中で、基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身につける。
- ③ 様々な体験・交流活動を通して、人を思いやる気持ちや協調性、社会性を養う。

### (3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 小松市民病院等の医療機関や家庭と連携し、病種や病状及び発達段階に適した「個に応じた教育」を推進する。
- ② 教材・教具の工夫や開発、校内での研修や研究授業を充実させることを通して、授業改善に努め、教科指導の充実に努める。
- ③ 児童生徒や保護者のニーズに応えるために、各種研修会等に参加し、病弱教育の専門性や技能、実践力を身につける。
- ④ 前籍校や諸機関と連携し、一貫性のある教育的支援を行う。
- ⑤ 限られた時間の中で、教職員の専門性を生かしつつ、教材研究や授業準備を行うとともに、児童生徒と向き合う時間を確保する。

## 3 今年度の重点目標

### (1) 児童生徒の自立

- ① 生活習慣を身につけるとともに社会性を養う。
- ② 学力をつける。
- ③ 家庭との連携に努める。

### (2) 教職員の資質の向上

- ① 教科の専門性を高め、指導力・授業力の向上に努める。
- ② 児童生徒の理解と安心して学べる環境整備に努める。

### (3) センター的機能

- ① 医療機関及び関連機関との連携に努める。
- ② 前籍校・小中学校との連携に努める。

### (4) 教職員の効率的・効果的な時間管理の推進

- ① 業務終了時刻を意識して、教材研究や授業準備、校務分掌等の業務の遂行に努める。

